

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-2-2
地域福祉の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

健康福祉総務課長 近藤一幸

電話番号

0852-22-5326

事務事業の名称	総合福祉センター維持管理運営事業	
目的	(1) 対象	福祉活動をする人
	(2) 意図	福祉活動の場が確保される
事業概要	福祉社会の向上・実現のために、福祉活動をする人に対して、福祉活動の場を提供する	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 施設利用率	目標値	46.0	48.5	48.5	50.0	50.0	%
		取組目標値						
	式・定義 利用件数/利用可能件数	実績値	48.4	47.5				
		達成率	105.3	98.0	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	175,313	175,403
うち一般財源 (千円)	154,686	155,227

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基いた現状)

・東部総合福祉センター(いきいきプラザ島根)は、開館から22年、西部総合福祉センター(いわみーる)は開館から17年が経過し、両施設ともに施設・設備の老朽化が見られる。
 ・平成28年度の両施設の利用状況は、いきいきプラザ島根は延べ利用者数(貸出施設)が157,949人で、利用率は56.62%、いわみーるは延べ利用者数(貸出施設)が62,132人で、利用率は39.49%である。両施設とも前年度に比べ減少している。H27年度は例年に比べ利用率が高かったことや昨年度冬季の天候不順などを考慮すれば、通常ベースの実績に比べ、利用率は下がってはいない。

6. 成果があったこと (改善されたこと)

○いきいきプラザ島根
 ・自動火災報知設備、冷温水発生機の修繕等施設の安全性を高める整備を行った。
 ・利用者アンケートの実施、新規利用者への礼状送付を行い、利用率向上への対策を行った。

○いわみーる
 ・非常用発電設備等の修繕を行い、施設の安全性を高める整備を行った。
 ・利用者アンケートの実施を行い、利用者向上への対策を行った。

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

- ・両施設の施設・設備ともに、老朽化による修繕等(会議室の新規整備も含め)の必要な箇所がある。
- ・両施設の貸出会議室等の確保
- ・施設(特定の貸出室等も含め)の利用率向上

②困っている状況が発生している「原因」

- ・いきいきプラザ島根は開館から22年、いわみーるは開館から17年が経過しており、いずれも経年劣化によるもの。
- ・利用者のニーズを十分に把握できていない(会議室の数、広さ、設備等)。
- ・特定の団体等のリピーターは多いが、利用者の新規開拓ができていない。

③原因を解消するための「課題」

- ・施設の改修等に関しては管財課とも連携を取りながら、計画的に対応していく必要がある。
- ・利用者の要望等を把握する一方で、施設をより積極的にPRしていく必要がある。

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- ・福祉活動の拠点施設として、管財課とも連携をとりながら、すぐに対応しなければならない箇所と計画的に施設改修を行っていく箇所を整理した上で、利用者にならないよう対応していく必要がある。
- ・施設利用率の更なる向上に向け、まずは施設に足を運んでもらうために1Fフロア等で様々な展示等を行ったり、ホームページ等からの情報提供により当該施設の認知度を高めていく必要がある。
- ・いきがい対策の活動の場としての利用要望に応えるため、現行の減免制度について関係課と協議し、幅広い活用を検討する必要がある。